

## F-12 未婚女子の余暇について（第1報）

### —余暇時間—

四天王寺女短大 岸田キクエ  
大阪府庁労働部 ○篠原 冬

1. さきに主婦の余暇の実態調査について、余暇意識の薄く消極的であることを報告したが、この度は婚前女子の余暇について調査し先報と比較して、余暇指導の手がかりをつかみたい。

2. 大阪近在の短大生と就職者を対象とし、アンケート法により解答を求め、分析し、先報と比較した結果のうち、第1報では余暇時間について報告する。

3. 短大生、就職者ともに朝は余暇時間が少なく、それぞれ83%、87%が0分であり、30分15%、60分2%で、主婦の0分のもの47%であったのに比して、余暇はないと言ってよい。昼（午後）は30分～60分ある者の数が最も多く、120分ある者は5%にすぎない。主婦の60分～120分が最も多かったのに比し全般に少ない。夜は120分～180分あるものが多く、主婦の60分～120分が最も多かったのに比べ余暇は多いと言える。短大生と就職者では大差はないが、夜の余暇時間では短大生の方がやや多い

ようである。1日の余暇時間を合計してみると、主婦の120分が最も多かったのに比べ180分～240分が最も多く、更に300分～330分ある者の数も主婦より多い。すなわち朝昼は少ないが夜は多く、全体的にも主婦より余暇が多いと言える。次に休日の余暇時間は平日より多いと答えた者が殆んどで、少ない、変わらない、と答えたもの、短大生で13%、就職者で7%であった。